



広島県
退職校長会

第 155 号

令和8年8月10日

令和8年度総会（福山大会）開催！！

5月16日（土）、福山ニューキャッスルホテルを会場として令和8年度の総会を開催しました。

本年度は福山市での開催、当日は折しも「福山ばら祭」が開催されており、会場周辺は文字通り華やいだ雰囲気でした。参加者は95名、うち地元福山支部からは大挙57名の参加がありました。

以下に、大会の概要を報告します。



《開会行事》

倉田秀善副会長の開会宣言に続いて、国歌を斉唱し物故者への黙祷を捧げました。

徳永正夫会長の開会挨拶の中で、全連退からの脱退の動向について、山口県のその後の動きや他県の状況などの報告がありました。

続いて、広島県教育委員会 乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与 蓮浦顕達様、全連退 田中昭光様からの祝辞が代読披露されました。

《議 事》

◎第1号議案～第3号議案

令和7年度の事業並びに決算報告・監査報告、中国地区退職校長会連絡協議会広島大会決算報告があり承認されました。

ただ、近年、会員の減少とともに会の財政状況が極めて深刻な状況になっていることが改めて大きな課題として浮き彫りになってきています。

◎第4号議案・第5号議案

令和8年度の活動方針と主な事業計画・予算案が上程され、承認されました。上述のとおり、厳しい財政状況から、特別会計の定額貯金500,000円を解約して一般会計に繰り入れるという苦しい予算編成になっています。

◎第6号議案

令和9年度からの会費値上げ案が示され、承認されました。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 令和7年度事業報告 |
| 第2号議案 | 令和7年度決算（一般会計・特別会計）報告並びに監査報告 |
| 第3号議案 | 令和7年度中国地区退職校長会連絡協議会広島大会決算報告 |
| 第4号議案 | 令和8年度事業計画案 |
| 第5号議案 | 令和8年度予算案（一般会計・特別会計） |
| 第6号議案 | 会費改定（値上げ）について |
| 第7号議案 | 令和8・9年度会報委員の選出について |
| 第8号議案 | 内規の改定について |
| 第9号議案 | その他 |

これまで役員執務手当カットや会議費（会場選定の工夫・湯茶提供の廃止など）の削減会報発行の工夫等さまざまな取組をしてきたものの、今後も厳しい状況が想定されるため、会の存続・運営を維持するには会費を上げるしか方策がないようです。

値上げ額は今後の検討事項で、令和9年度の予算案に計上されることになります。

ちなみに、現行の2,000円は平成26年度に改定されたものです。

◎第7号議案

昨年度末に各支部から推薦が上がり、会長から委嘱を受けた会報委員が紹介されました。令和8・9年度の選任になります。

◎第8号議案

上寿と米寿の長寿者へのお祝いの記念品を廃止し賀詞・祝詞・丸筒のみとする文言に改めることが承認されました。

◎第9号議案（その他）

これまで長らく本会に関わりと功績のあった芸備保険センター（保険代理店）から、廃業のお知らせがありました。

《閉会行事》

最後に倉田秀善副会長の挨拶で総会を閉じました。

《情報交換会》

総会行事に引き続いて行なわれた情報交換会は、広島県退職校長会と福山支部合同で行いました。出席者は68名でした。

徳永正夫会長の挨拶の後、福山支部三島康由支部長の乾杯の音頭で会が始まりました。テーブルごとにゆったりと時間が流れ、歓談と情報交換が進みました。

途中、アトラクションとして、昨秋の中国地区退職校長会広島大会のレセプション以来の亀宝悠二広島市支部長の手品ショーで会場が湧きました。そして、倉田秀善副会長の万歳三唱と押川貞生副会長の挨拶で会を閉じました。



〈「投稿」のお願い〉

「開かれた会報」をめざし、会員の皆さんの「投稿」をお待ちしています。短歌や俳句はもちろん、日々の暮らしの中でふと心を動かされた出来事などをそのまま文章にして、事務局へ直接お送りください。

令和8年度 一般会計予算

収 入

(円)

項 目	7 年度予算	7 年度決算	8 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越	409,647	409,647	96,306	
会 費	2,920,000	2,894,000	2,720,000	2,000円×1,360人（前年比－87人）
活 動 奨 励 費	0	0	0	
戻 入・雑 収 入	150,000	177,771	500,000	定額貯金解約に伴う収入
利 息	1300	1,377	1,500	定額貯金解約に伴う利息を含む
合 計	3,480,947	3,482,795	3,317,806	

支 出

(円)

項 目	7 年度予算	7 年度決算	8 年度予算	摘 要
連 合 会 費	984,000	996,368	674,000	
全連退負担金	584,000	578,800	544,000	400円×1,360人＝544,000円
全連退総会費	50,000	40,113	50,000	全連退総会参加のための交通費・宿泊費
中国地区会費	350,000	377,455	80,000	岡山大会参加費・交通費・宿泊費（2人分）
会 議 費	530,000	581,855	730,000	
総 会 費	290,000	314,570	450,000	福山開催に伴う交通費・会場費、資料印刷代等
理 事 会 費	0	0	0	
常任理事会費	140,000	164,820	180,000	年3回開催に伴う交通費・会場費
本部役員会費	100,000	102,465	100,000	会計監査、役員会の交通費・会場費等
支部役員会費	0	0	0	今年度は開催の予定なし
事 業 費	540,000	558,850	310,000	
教育懇話会費	40,000	26,900	10,000	
会 報 発 行 費	250,000	339,810	250,000	年2回発行に伴う印刷費、交通費・委員会会場費
長寿者慶祝費	250,000	192,140	50,000	祝詞送料
事 務 費	590,000	459,145	490,000	
事 務 手 当 費	320,000	247,000	240,000	4万円×3人×2回（前期・後期）
需 用 費	40,000	35,689	50,000	事務用品
通 信 費	200,000	141,281	150,000	切手代、郵送料、ホームページ維持費等
印 刷 費	30,000	35,175	50,000	コピー用紙、プリンタインクカートリッジ等
支 部 助 成 費	730,000	723,500	680,000	500円×1,360人（前年比－87人）
慶 弔 費	60,000	39,000	50,000	電報1通1,000円（各支部へ；人数分×1,000円）
雑 費	0	27,771	0	
予 備 費	46,947	0	383,806	
合 計	3,480,947	3,386,489	3,317,806	
決 算 残 高		409,647		

令和8年度本部役員名一覧

役 職 名	氏 名	地区名	支部名	役 職 名	氏 名	地区名	支部名
会 長	徳 永 正 夫	備 北	三 次	会報委員長	松 浦 伸 二	西 部	西 部
副 会 長	押 川 貞 生	西 部	西 部	会報副委員長	兼 田 克 子	芸 南	東広島
	倉 田 秀 善	福 山	福 山	会 報 委 員	姫 野 優 子	尾 三	因 島
監 事	眞神田 嘉 英	尾 三	尾 道		和 田 啓 介	福 山	神 石
	山 根 真 郎	芸 北	山 県		中 村 忍	芸 北	山 県
常 任 理 事	畠 中 和 樹	西 部	西 部		松 浦 誠	備 北	庄 原
	下 重 節 実	芸 南	安浦・川尻	事務局長	梶 井 誠 二	西 部	西 部
	山 田 恭 樹	尾 三	三 原	事務局次長	新 宅 敦 彦	芸 北	安芸高田
	井 上 貞 女	福 山	福 山	会 計 幹 事	秋 政 保 伸	芸 北	安芸高田
	池 田 庄 策	芸 北	山 県	※徳永正夫会長 全国連合退職校長会副会長 中国地区退職校長会連絡協議会会長 兼務			
	井 上 隆 彰	備 北	庄 原				

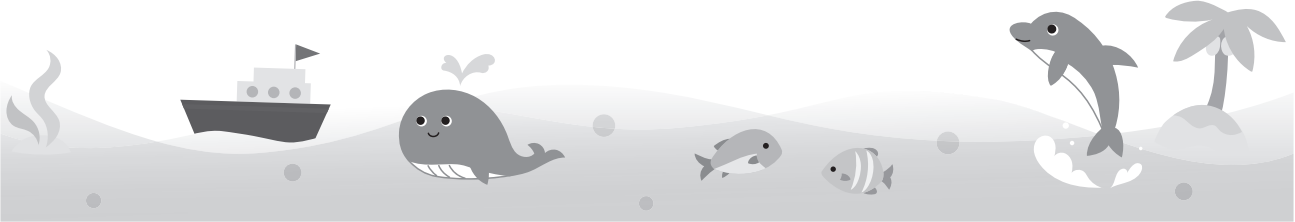
令和8年度支部役員名一覧

支部名	支部長名	事務局長名	支部名	支部長名	事務局長名
西 部	西 尾 裕 次	畠 中 和 樹	尾 道	村 田 聰 之	松 島 公 司
呉	木 村 茂 緒	木 村 茂 緒	因 島	岡 本 和 信	村 上 みどり
安浦・川尻	森 田 美喜文	下 重 節 実	世 羅	真 田 正 幹	新 庄 譲 児
安 芸	小 松 富士夫	坂 田 真 澄	沼隈・内海	志田原 友 逸	後 川 芳 治
東広島	山 西 正 明	渡 辺 豪	福 山	三 島 康 由	門 田 剛 年
山 県	池 田 庄 策	中 村 忍	府中・芦品	瀬 尾 暁 玄	小 川 光 男
安芸高田	迫 広 淑 文	藤 田 覚 治	神 石	東 一 史	平 元 清 登
竹 原	大 森 隆 司	福 田 明	三 次	佐 島 澄 夫	杉 本 忠 三
豊 田	久 保 卓 也	岡 田 眞	庄 原	井 上 隆 彰	堀 江 信 之
三 原	山 田 恭 樹	井 原 剛 治			

※広島県退職校長会広島市支部は会員数が0人になりましたので解散しました。

▶▶▶ 事務局からのお知らせ ◀◀◀

- 県会報の発行は、今年度に限り2回となります。（8月と3月）12月は全連退の会報だけを送付します。
- 長寿者への記念品は令和9年度からは賀詞と丸筒を送付します。
- 本年度は本部役員（会長・副会長3名・監事2名）の改選期です。ご協力の程よろしくお願い致します。





支部情報

1 尾道支部

役員退任にあたって思うこと

副支部長 亀岡三郎

本市退職校長会の年代別構成は、少子化の影響による学校の統廃合等で学校数の減少から逆ピラミッド構成である。(全国的にも、この5年間で会員が五千余名減少で、同様の構成になっている)仕方がないとはいえ、このまま手をこまねていると、やがては役員の成り手がなくなる、会の存続があやぶまれる……そんな時が来るとの危機感をもち、60歳の役職定年を迎えられる方の100%入会をめざして、入会の取り組みに努めた。

しかし、定年延長や役職定年制の導入、年金先延ばしに伴う再雇用制度の壁は厚く、その上、希薄な人間関係から、いまいちと言わざるを得ない結果になってしまった。

私は、先輩に誘われれば「ノー」と言う選択肢はない時代であったとはいえ、退職したら入会するものと思っていた。また、そのことに、何の疑問も持たなかった。現在の役員は、みなそうである。

しかし、今、その時代に求める「退職校長会の存在価値は何か」を常に問いかけ、説得力のある答えをもって、入会の勧誘に行かなければならない時が来たように思う。

また、今回の改選は、なんとか乗り切ることができたが、「何が変わらなければならないのか」の検討を加え、古い皮を一枚脱いで、力強くもしなやかな組織に近づけなければならないと思っている。

交代はしたけれど、そのための協力は、惜しまないつもりでいる。

2 因島支部

『働き方改革』で失うもの

支部長 岡本和信

以前、こんな漫談を『日本教育新聞』に掲載してもらったことがある。

「牛はひたすら草を食べて立派な牛になっていく。すなわち牛は草の変形である。
では、人は何を食べて知性や精神性を持つ人間になるのか。
答えは、人は“出会い”を食べて人間になる。すなわち“出会い”の変形なのだ。云々」

昔から「人を変えるのは人」と言われるように、“生（なま）の人”が持つ影響力は計り知れない。皆さんも記憶があるだろう。勤務時間後のストーブ談議で先輩方の型破りで（時に）無責任な自慢話や失敗談に聞き惚れたことを。そして時折挟まれる「くそ真面目じゃ良い教師になれん。ボチボチやれ。」といった忠告は、新米だった私の緊張感を大いに和らげてくれた。不思議なことに、そ

の語り口や表情やセリフで脚色された『ストーリー』は、何年たっても心に生きて矜持を育み、危機に直面した私を救ってくれた。何度も。

さて今はどうだろう。『働き方改革』で退校時間が厳しくなってしまう、じっくり“先輩の知恵”を聴くことも質問することもできず、研修が盛り上がっていても「ハイ時間です」と学校を追い出されるのだ。かくて新米教員は、一人アパートの一室で堂々巡りをする悩みに潰されそうになり、ある日、『もう辞めよう』と決意する。

だとしたら、時間ばかりを切り詰めてきた『働き方改革』は、支え合う人間関係を切り、教師としての誇りや気概が伝授される“出会い”を奪ってないのか。

『働き方改革』の成果も多々あるが、失っているものはないか検証がほしい。ぜひ。

≡ 新会報委員から一言 ≡

○姫野 優子（因島支部）

私の家の前には中学校がある。グラウンドから体育やクラブの声が聞こえてくる。今日も元気をもらっている。

○松浦 誠（庄原支部）

庄原支部会報を出して、12年目となります。コロナの時は原稿が無く苦しかったです。会報は情報源です。頑張ります。

○和田 啓介（神石支部）

支部の集まりにはほぼ出席しているが、その楽しみの一つは諸先輩方の「その後」の生き方に触れることである。つくづく、「続けると本物になる。本物は続く」ことを実感させられている。

○中村 忍（山県支部）

来年は古希を迎えます。健康と趣味は大事にし、常にプラス思考で仲間の輪を広げていきたいものですね。

物故者追加 謹んで、ご冥福をお祈りします。

呉支部 西村 忠顕 様（90歳） 令和8年1月1日ご逝去



編集後記

年々変動する気候、混とんとする世界情勢、不可解な事件事故、頻繁化するクマの出没や被害情報、そして家計をひっ迫させる諸物価の高騰……。

スポーツ界の話題を除けば、ストレスと負荷のかかる情報ばかりに気分がめいってしまいがちです。

そんな中で、総会も終わりと令和8年度がスタートしました。この第155号の記事にもありますが、予算書のとおり本会の内情もなかなか厳しい状況です。

せめて役員だけでもと空元気を出し、この厳しく手強い状況に立ち向かって会を盛り上げていきたいと思う日々です。

広島県退職校長会 会報第155号

発行 令和8年8月10日
広島県退職校長会
会長 徳 永 正 夫

事務局 〒731-5101
広島市佐伯区五月が丘
2丁目17番24号
TEL 082-941-2631

ホームページ
<https://taisyoku.org/>



E-mail seichan1724@yahoo.co.jp
印刷所 (株)デルタプリント
広島市南区大州2丁目12-15
TEL 082-281-7338